

# 「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」

～新成長戦略実現に向けたステップ2～

(説明資料)

平成22年10月8日  
内閣府

(注) 本資料は、「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」の説明用の資料として、内閣府の責任において便宜的に作成されるものであり、引用等については本文を参照ください。

## < 目 次 >

「新成長戦略実現に向けた3段構えの経済対策」の考え方	… 1
「ステップ2 今後の動向を踏まえた機動的な対応」	… 2
経済の現状	… 3
 ＜5つの柱＞	
1. 雇用・人材育成	… 6
2. 新成長戦略の推進・加速	… 13
3. 子育て、医療・介護・福祉等	… 19
4. 地域活性化、社会資本整備、中小企業対策等	… 24
5. 規制・制度改革	… 29
施策執行の進捗管理	… 30
本対策の規模	… 30
本対策の効果	… 30

# 「新成長戦略実現に向けた3段構えの経済対策」の考え方

## ステップ1

### 円高等に対する 緊急的な対応 (9月10日決定)

- 円高等の景気下振れリスクに対応する



- ・予備費(9,179億円)を活用した即効性のある施策(雇用、投資、消費の基盤づくり、地域の防災対策)
- ・日本を元気にする規制改革100

(既に着手)

## ステップ2

### 景気・雇用動向を踏まえた 機動的な対応

- 景気を巡る環境は厳しさを増し、依然下振れリスクは強い



- デフレ脱却と景気回復に向けた動きを確かなものとするため、スピード感を重視して、補正予算を含む経済対策を策定
  - ・補正予算により、経済の活性化や国民生活の安定・安心に真に資する施策を実施
  - ・財源を使わない景気対策として規制・制度改革を加速

## ステップ3

### 平成23年度の対応 —新成長戦略の本格実施—

- 新成長戦略の本格実施により、デフレ脱却に向けて、雇用を起点とした経済成長を目指す



- 予算編成における「元気な日本復活特別枠」の活用
- 雇用促進等のための企業減税
- 規制・制度改革の更なる推進

## ステップ2 今後の動向を踏まえた機動的な対応

### 経済の現状

景気の先行き

悪化懸念の強まり

- ・ステップ1決定以降も、景気を巡る環境の厳しさが増している。
- ・輸出はアジア向けを中心に鈍化
- ・生産は3ヶ月連続で減少
- ・企業の先行き景況感は悪化
- ・失業率は5%超で高止まり

景気回復の力が広がっていない中で、景気を下ぶらせるリスク要因

- ・円高の長期化
- ・海外経済の減速

デフレ脱却や自立的回復の実現が遠のく恐れ

### スピード感をもった切れ目ない需要・雇用の創出と、円高・デフレ状況への対応

#### 3つの視点

- ・**今後の需要減少懸念への備え、マインド安定への働きかけ**
  - 今年末から年明け以降の景気・雇用の悪化リスクに需要面から備える
- ・**来年度予算実行への橋渡し**
  - 需要・雇用創出を着実に後押しし、新成長戦略の本格実施につなげる
- ・**新成長戦略の前倒し**
  - 将来を見据えた「国家戦略」の一環としての対策。新成長戦略を大胆に加速。

#### 為替

- ・引き続き、必要な時には為替介入を含め断固たる措置を取る
- ・円高にはメリットもあり、これを最大限活用する

#### 金融政策

- ・日本銀行に対しては、デフレ脱却が政府と日本銀行の政策課題であるとの認識を共有し、引き続き、政府と緊密な情報交換・連携を保ちつつ、適切かつ機動的な金融政策の運営によって経済を下支えするよう期待

#### 5つの柱

経済の活性化や国民生活の安定・安心に真に役立つ施策の実施

##### 雇用・人材育成

- ⌚ 「新卒者就活応援プログラム(仮称)」の実施
- ⌚ 雇用調整助成金等の要件緩和
- ⌚ 重点分野雇用創造事業の拡充

##### 新成長戦略の推進・加速

- ⌚ レアアース等天然資源確保の推進
- ⌚ グリーン・ライフィラ・ーションの研究開発支援の加速
- ⌚ インフラ／システム海外展開支援

##### 子育て、医療・介護・福祉等

- ⌚ 保育サービス等の基盤の整備
- ⌚ 地域医療の再生と医療機関の機能強化
- ⌚ 介護サービスの充実

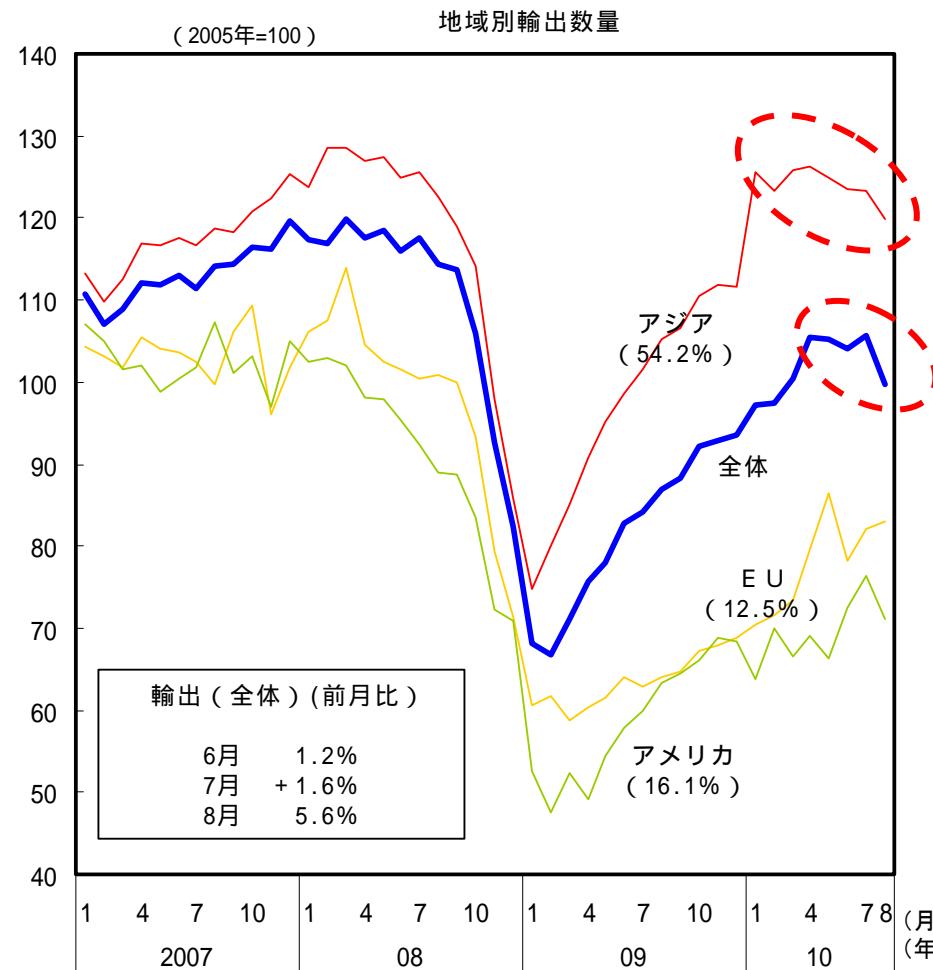
##### 地域活性化、社会資本整備、中小企業対策等

- ⌚ 住宅・学校等の耐震化
- ⌚ 地域活性化交付金(仮称)の創設
- ⌚ 地域経済の元気復活に資するインフラ整備

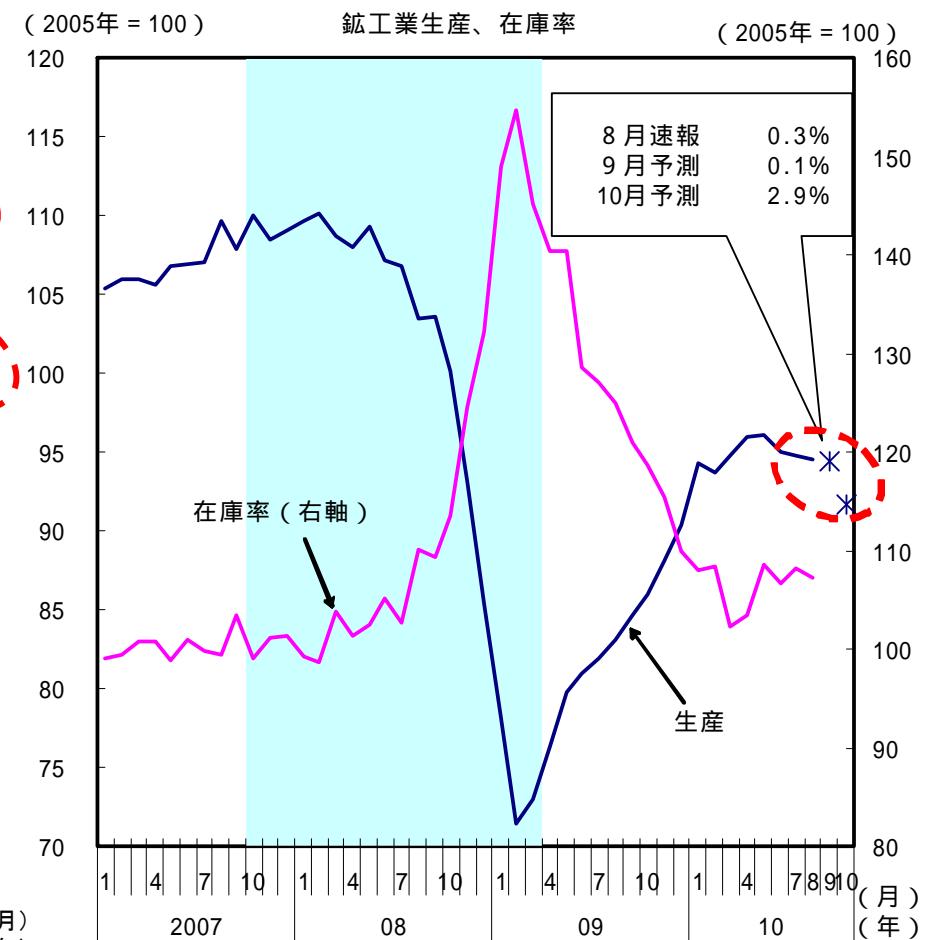
##### 規制・制度改革

# 経済の現状

○輸出はアジア向けを中心に鈍化



○生産は3ヶ月連続で減少、予測も厳しい



(備考) 左図：1. 財務省「貿易統計」により作成。

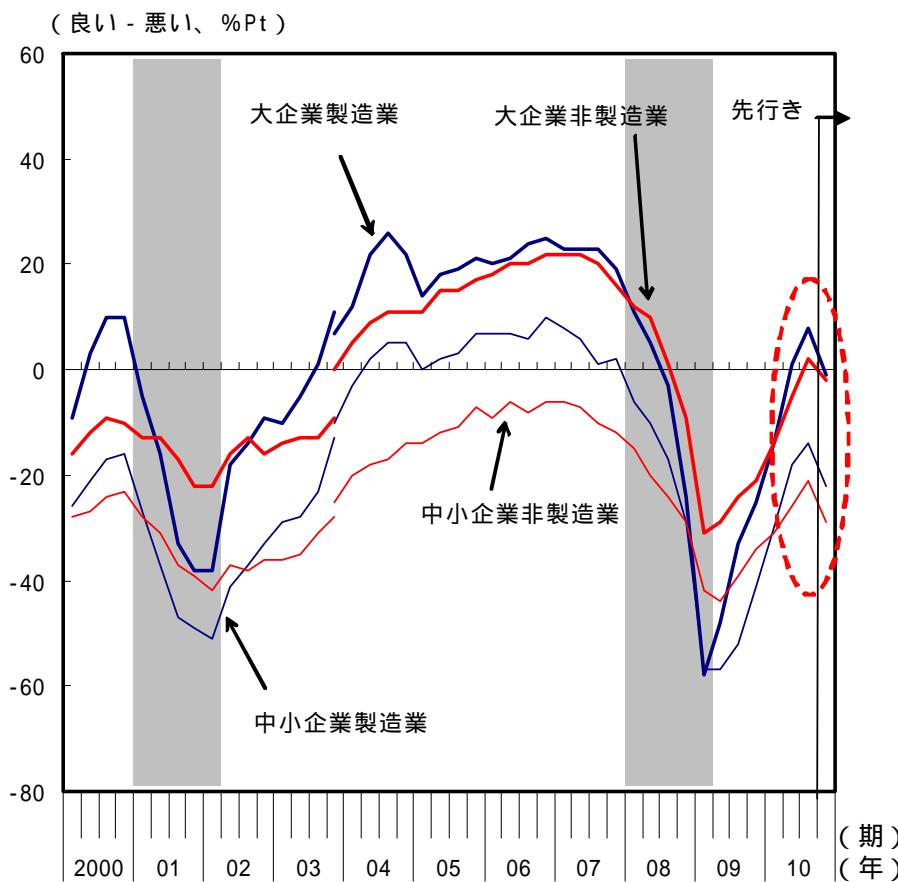
2. 季節調整値。括弧内は2009年の金額ウェイト。

右図：1. 経済産業省「鉱工業指数」により作成。季節調整値。

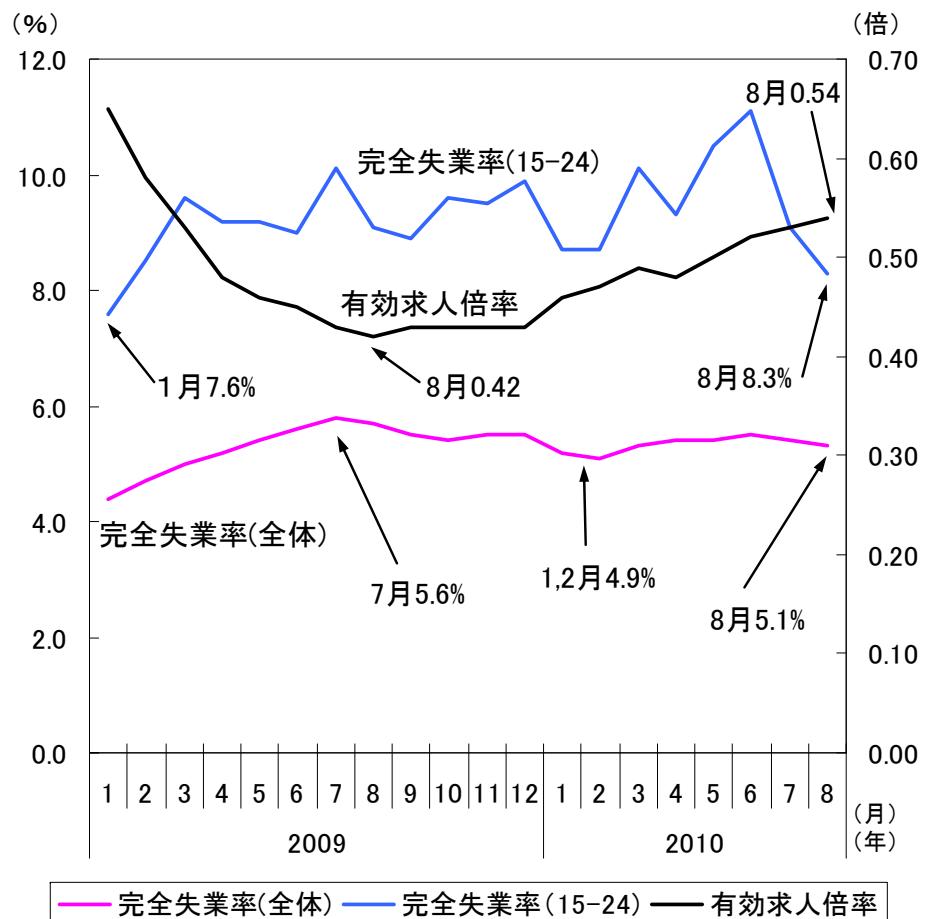
2. 9月、10月の値は製造工業予測調査による。

# 経済の現状

## ○企業の先行き景況感は悪化



## ○失業率は5%超で高止まり

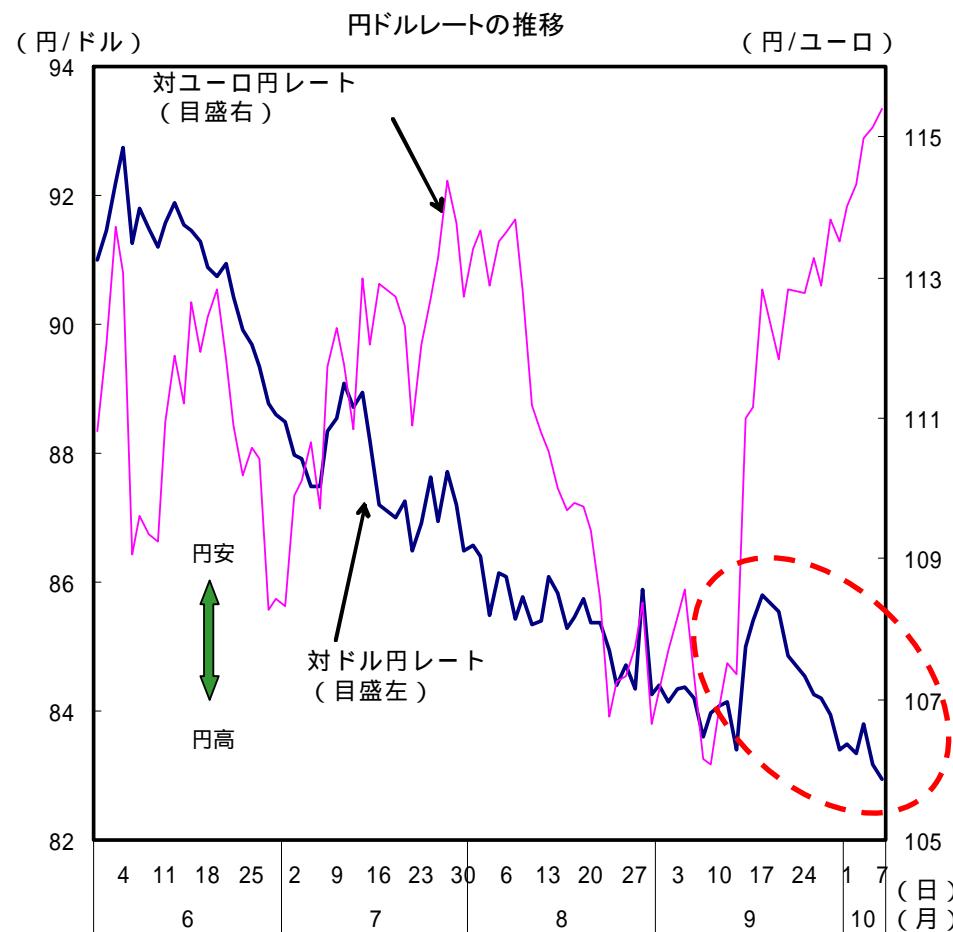


(備考)日本銀行「全国企業短期経済観測調査」により作成。

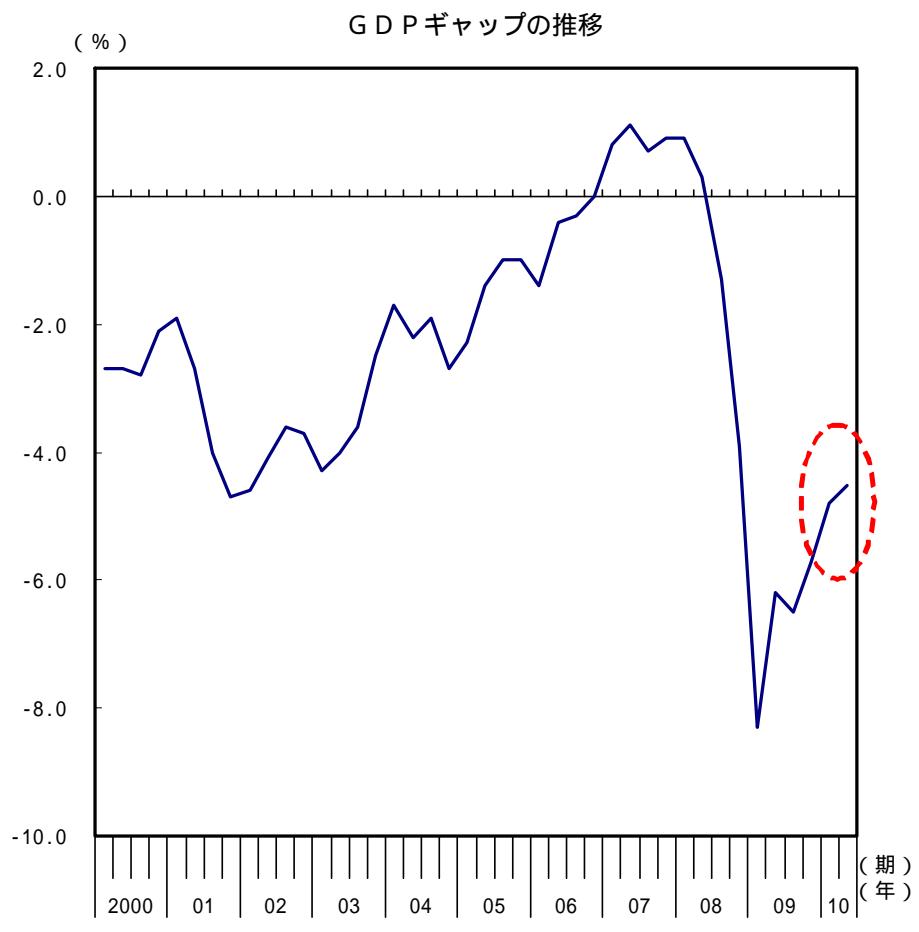
(備考) 総務省「労働力調査」により作成。

# 経済の現状

○為替レートは依然厳しい円高水準で推移



○GDPギャップは依然として大きい



(備考) 内閣府推計値。

GDPギャップ = (現実のGDP - 潜在GDP) ÷ 潜在GDP。

GDPギャップは定義や前提となるデータ、推計方法によって数値が大きく異なることから、符号を含め幅をもってみる必要がある。